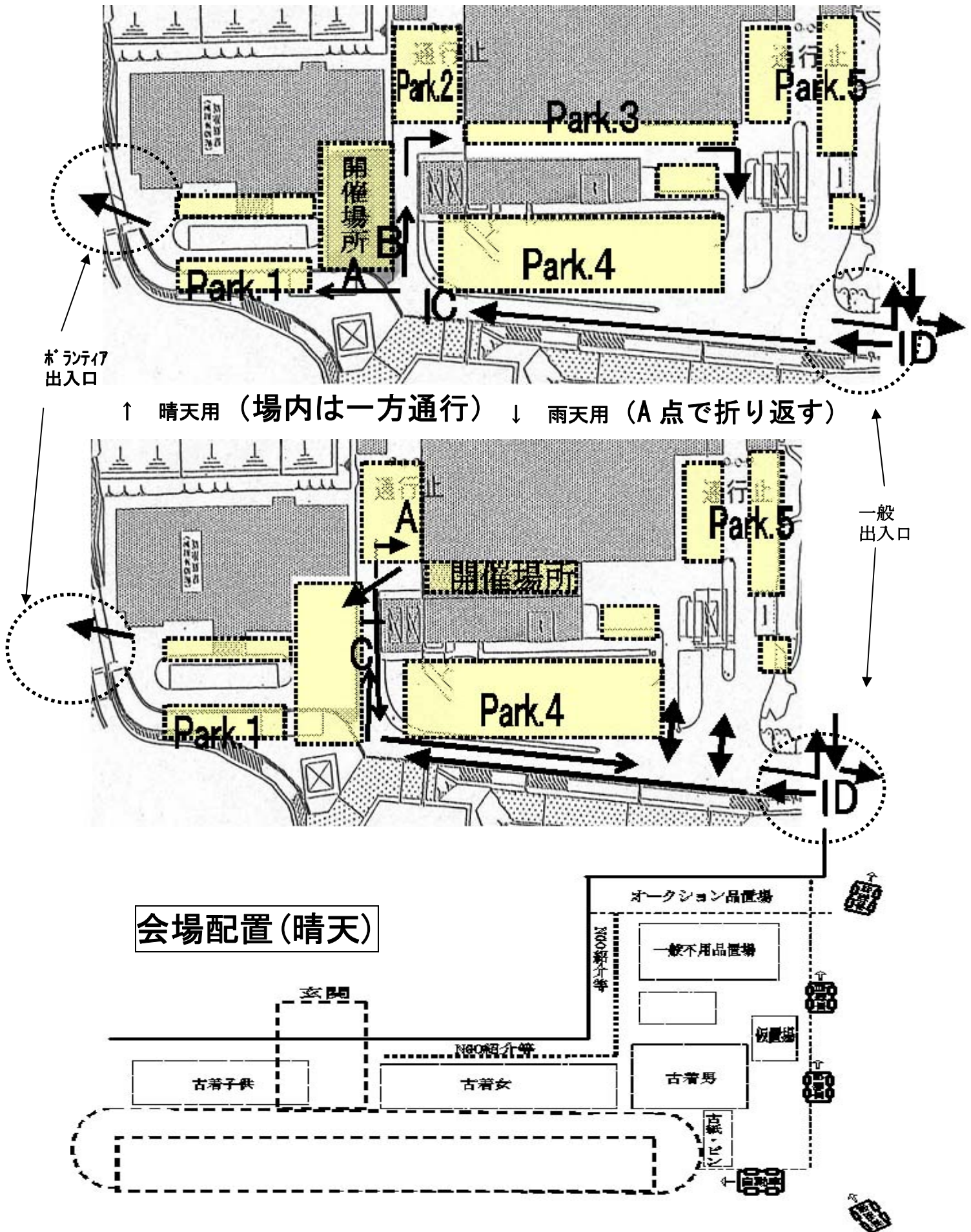


第15回ゴミゼロフェスタ会場運営要項 (案)



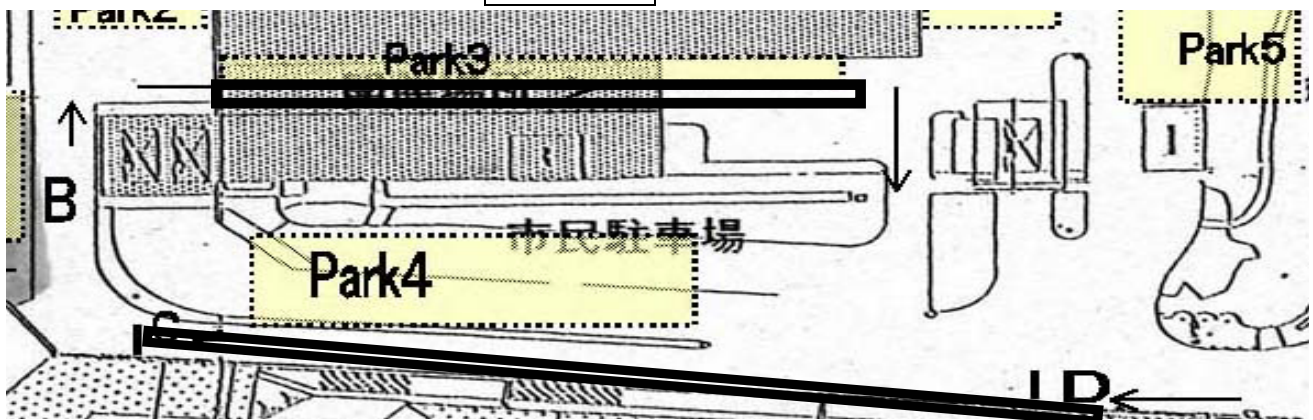
(1) ボランティア集合の事前の準備について

- ①ボランティア出入口は午前7時くらいから入場は可
ボランティアは8時までに集合し、必要な荷物を会場に降ろし、自家用車は速やかにボランティア駐車場に移動する。※**駐車場スペースに限りあるので極力相乗り**を心がける。
- ②ボランティアは、「ようこそゴミゼロフェスタ」「ボランティアの皆様へ」を受け取り、自分の役割を確認する。スタッフビブスなどで一般来場者と区別できるようにする。
- ③8時～、清掃工場の借用品の数量を確認し、借り受ける。数量確認後、全員で運び出す。
※借用品の管理は、管理担当者がそれぞれ責任を持って管理する。
- ④8時～、全体ミーティングを実施する。

(2) 開門と開門後の流れ (受付Gなどの役割)

- ①一般出入口は「8時半以降開門」とし、受付G、駐車場Gの準備、歩道の確保など整い次第、清掃工場スタッフに依頼して、開門する。
- ②一般出入口の開閉は、ボランティアの**依頼によって、清掃工場スタッフにより行われる。**
ボランティアは勝手に出入口の開閉をしない
- ③D地点に受付Gが立ち、「荷降ろしが無い車」は資源循環センターParkへ誘導
- ④荷降ろし待ちの車は C地点待ってもらうように誘導
- ⑤受付GがC地点に立ち、受付開始まで、待ってもらう

(3) 歩道の確保 など 会場準備 ※晴天用のみ



- ①開門の前までに、歩道を上記のように確保する。Park3の片側側面 C～Dまでの片側に歩道とする。そのために、コーン、バー、ビニール紐を使い幅1mほどの歩道を確保し、そこを歩いてもらうようにする。
- ②配置図に従い、ブルーシートなど使い会場の配置し準備する。

(4) 開会と開会後の流れ

- ①9時20分頃を目途に、準備が整い次第開会する。簡単に開会式を行う
- ②まず、荷降ろしを開始する。(合図をする)
- ③荷降ろしが無い来場者は、Park4で待機待ってもらう。
- ④概ね9時半頃に荷降ろしの無い来場者にも会場に入ってもらう(合図をする)
- ⑤荷降ろしの車は C経由で、A、Bで降ろし P1～P5に駐車。雨天の場合は、Aで降ろしUター

ンして、P1、P4、P5に駐車。

⑥P1～P5が満車の場合は 資源循環センターPへ

(5) その他の必要事項

①会場内での商行為、物品販売は禁止。但し、NGO コーナーの必要教材費（布ナプキン、古着でそ
おり、マイ箸講座など）の徴収、運営カンパは例外とする。

②事務棟の自動ドアは解除。トイレは、一般参加者も含め事務棟のトイレを使用する。但し、運営時
間中は、トイレ以外の場所に一般参加者が立ち入らないよう、要員を配置する。

③フェスタ終了後、処理できない不燃物、可燃物は清掃工場に処理を依頼する。但し、古紙、古着、
リユース瓶は、ボランティア側で処理する。

(6) 来場者が守るべきルール

●持ち込むモノ

①持ち込めるモノは、まだ「充分使える」「乗用車で持ち帰れる大きさ」のモノに限る。

②古着は分別（子供服、紳士服、婦人服）すること。

●並ぶこと、荷物を降ろすこと

③駐車、荷降ろしの際は、スタッフの指示に従い、駐車スペース以外に絶対に駐車しないこと。

④搬入・搬出は、順番を守り、降ろす際には車から離れない。

⑤荷物を降ろしたら、すみやかに車を移動すること。

⑥荷物は、仮置場に降ろすこと、来場者が、直接会場内に持ち込まないこと。

⑦「雨天用会場」の場合、雨天用配置図で運用する。

※「雨天用会場」とは、雨天又は開催中に雨天になると予想される場合に主催者が判断する

●持ち帰る

⑧陳列された不用品を持ち帰る際は、スタッフに声を掛けて持ち帰る。無言で持ち帰らないこと。

車から降ろされ仮置きされたモノに触れないこと。常に、スタッフの指示に従うこと。

⑨オークション置場の不用品は、ジャンケン又は抽選によって選ばれた人が持ち帰る。スタッフの許
可無く、勝手に持ち帰らないこと。オークション置場に立ち入らないこと。

※一般置場とオークション置場と区別する。

⑧古着は1人1回に持ち出す点数は20点までとする。

⑨自分の履物など、ご自身でキチンと管理すること。（無くなることが多
い）

●諸注意

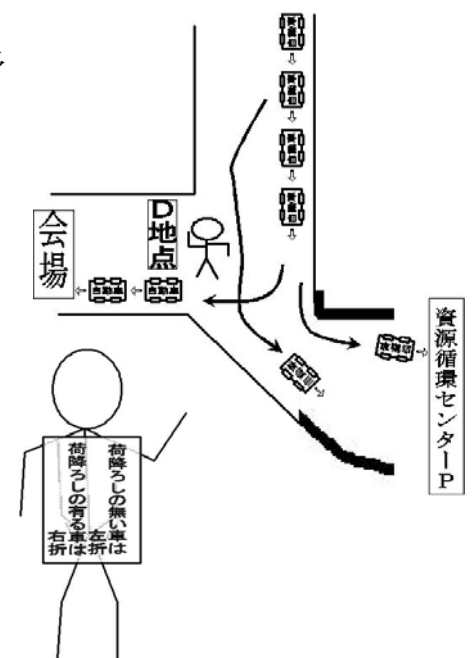
⑩会場内での事故について主催者は一切責任を負えません。

⑪保護者の方は、危険ですのでお子さんから目を離さないで下さい。

(7) 受付G管理ルール

①カウンターで入場車台数を数える。「アンケート、ようこそゴミゼロ
フェスタへ」を配布する。誘導灯1本使用。

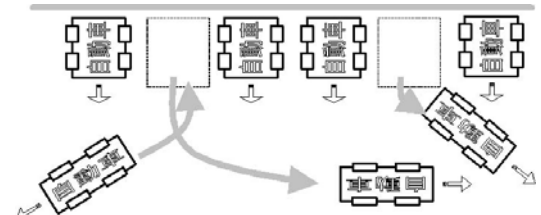
②「**荷降ろしの無い車は、左折、荷降ろしのある車は右折**」のサンド
イッチ表示を掲げる（※資源循環センターPが満車で無い限り）



- ③資源循環センターPの入口は必ず空けるように、待っている車の列を誘導する。
- ④坂道を上がる車の列はできるだけ、上に向かって左側に寄せる。

(8) 駐車場G管理ルール

- ①駐車場は P2→P3→P5→P4 の順番に埋めていく。例：P2がいっぱいになったら、P3……。 ※P1は適時
- ※雨天用の場合 資源循環センターP1→P4→P5の順番
- ②駐車場スペースは、順番に埋める。3～4人以上がチームになり。一箇所ずつ集中する。一度埋まれば、係無しでもスムーズに駐車しやすい。
- ③誘導灯は3本使用。



(9) 受入G管理ルール

- ①C地点の担当と合図をとりながら、A、Bに誘導する。 C地点誘導灯1本。
- ②来場者が、車から離れないようにする。荷物置場の運転手が行方不明アリ
- ③仮置場に速やかに下ろし、次の車の誘導のために車を早く動かす。
- ④仮置場から、速やかに古着、不用品、古紙、海外援助置場に運ぶ
- ⑤手運びの荷物も仮置場においてもらう
- ⑥仮置場に「荷を降ろす際には、車から離れないこと」「荷降ろし終了後、速やかに車を移動する」「直接会場内に荷を持ち込まないこと」表示をする。
- ⑦仮置場で、古着などは「男・女・子」の簡易表示のもと3分類をする
- ⑧荷降ろしをしない人の一人は「荷を降ろす際には、車から離れないこと」「荷降ろし終了後、速やかに車を移動する」サンドイッチ表示をする



(9) 不用品G管理ルール

- ①オークション置場は、ビニール紐等で来場者が入れないように区分する
- ②運んでくれる受入Gに、「一般置場」「オークション置場」に運ぶ場所を指示する
- ③オークション置場の中から、抽選品を選択し、時間を決め、抽選を行う。

(10) 古着G管理ルール

- ①場所として、「男」「女」「子供」の区別を行う。
- ②3区分の表示を必ず実施する。3区分の境目は明確にする(同じブルーシートにはおかないなど)
- ③「男」「女」「子供」のサンドイッチ表示者を一人ずつ3名決める。

(11) その他

- ①会場図は、詳細図面を作成する。

